

沖縄で医療観光研究

ジェロントロジー総研

海洋療法など

来年2月

化粧品の輸入販売を手
掛けるジェロントロジー
総合研究所（岡山市、高
縄県でタラソテラピー
市基樹社長）は13日、沖
（海洋療法）とアンチエ

イジング（抗加齢）療法を連携させた医療観光の実証研究を始めると発表した。県内の海洋療法施設や医療機関と組み、琉球大学が睡眠障害や更年期障害、うつ症状などの改善効果を検証する。

実証研究は第1弾として来年2月、中高年女性ら24人を対象に、5泊6日の日程で、沖縄県宜野座村の第三セクターが運営する「かなたタラソ沖縄」などで行う。海水を使用したジャグ

ジーや、沖縄の海産物を食材とした食事を提供。予防医学に力を入れているルーミアニア国立加齢科学研究所が監修した理学療法や化粧品を用いる抗加齢療法も実施する。医療機関での検診などを組

み込み、うつ症状や美肌効果を検証する。ジェロントロジー総合研究所は、実証研究に備えて月内にも県内に支社を開設する予定。食品産業などとの連携も目指す。